



平成 28 年度企画展「石斧と人—3 万年のあゆみ」開催について

1 概 要

人と石斧（いしおの）との関わりは、約 3 万年前の旧石器時代から始まり現代まで続いており、石斧は人が最も長く使い続けている道具のひとつです。この展覧会では、石斧の歴史的な変遷をたどるとともに、石斧の製作、流通、副葬、埋納など、3 万年という長い歴史の中でみられる石斧と人とのさまざまな関係について紹介します。

2 展示のポイント

(1) 第 1 に「土器に収蔵された石斧」です。縄文時代は約 1 万年続いた時代ですが、遺物として土器の中に入れられた状態で発見された石斧は、日本では 17 例しかありません。そのうちのひとつが松戸市の河原塚遺跡で 1955（昭和 30）年 12 月に発見された石斧です。松戸市所蔵のもののほか、実物を 4 点、レプリカを 1 点展示し、他の出土品についても写真や図面などで紹介します。

土器に収蔵された石斧の意味については、発見されたものが少ないため判明していません。たいへん珍しい事例なので、多くの方に知ってもらうことがこの展覧会の目的のひとつとなっています。

(2) 第 2 に世界的に見ても最大級の石斧 4 点です。「秋田県上掬（うわはば）遺跡出土石斧（磨製石斧）」で、4 点のうち最大のは長さ 60.2cm・重さ 4.4kg、最小のもので長さ 32cm・重さ 2.3kg あります。これらの石斧は、大きさや重さから実用品ではなく儀礼のために製作されたものであろうと考えられており、美しく磨かれた大きな石斧はみどころのひとつとなっています。

3 展示構成と展示資料（開催要項を参照）

遺跡からの出土遺物や現在まで石斧を使用しているニューギニアの民族の生活用品などの展示資料約 600 点のほか、映像、写真などで構成します。

- 4 開催期間 平成 28 年 9 月 17 日（土）～11 月 23 日（水・祝）
9 時 30 分から 17 時（入館は 16 時 30 分まで）
月曜日休館（祝日の場合は開館し、翌日休館）

- 5 主 催 松戸市立博物館



- 6 会 場 松戸市立博物館 企画展示室
- 7 観 覧 料 一般 300 円（団体 240 円・共通券 500 円）
高校生・大学生 150 円（団体 100 円・共通券 250 円）
中学生以下無料
- 8 関連事業
- ・担当学芸員講演会 日 時：平成 28 年 9 月 25 日（日）13 時～15 時
講演名：「石斧と人—企画展の見どころ」
講 師：大森隆志（博物館学芸員）
 - ・企画展記念講演会 日 時：平成 28 年 10 月 23 日（日）13 時～15 時
講演名：「磨製の石斧と旧石器時代人の生活」
講 師：安蒜政雄氏（明治大学教授）
 - ・歴史を語る 日 時：平成 28 年 11 月 3 日（木・祝）13 時～15 時
講演名：「斧を持つ人」
講 師：田中英司（東洋大学講師）
- 9 後 援 千葉テレビ放送、公益財団法人 松戸市文化振興財団
- 10 協 力 国立民族学博物館、新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社
流鉄株式会社
- 11 その他 9 月 1 7 日（土）午前 9 時 30 分から企画展示室前ロビーにおいて
開会式を開催します。
- 12 添付資料
- （1）開催要項
 - （2）展示資料写真

【問い合わせ先】

生涯学習部 博物館 ☎ 0 4 7 - 3 8 4 - 8 1 8 1

○大切にされた石斧 土器に収蔵され出土した石器



松戸市 河原塚遺跡出土 縄文時代



東京都 府中市 武蔵台遺跡出土 縄文時代

○祈りに使われた石斧 世界最大級の石斧 右から2番目 長さ60.2cm 重さ4.4kg



秋田県 上掬（うわはば）遺跡出土 縄文時代

○石器を使い続けた人々 ニューギニアの人々の生活と文化



儀礼用の縦斧

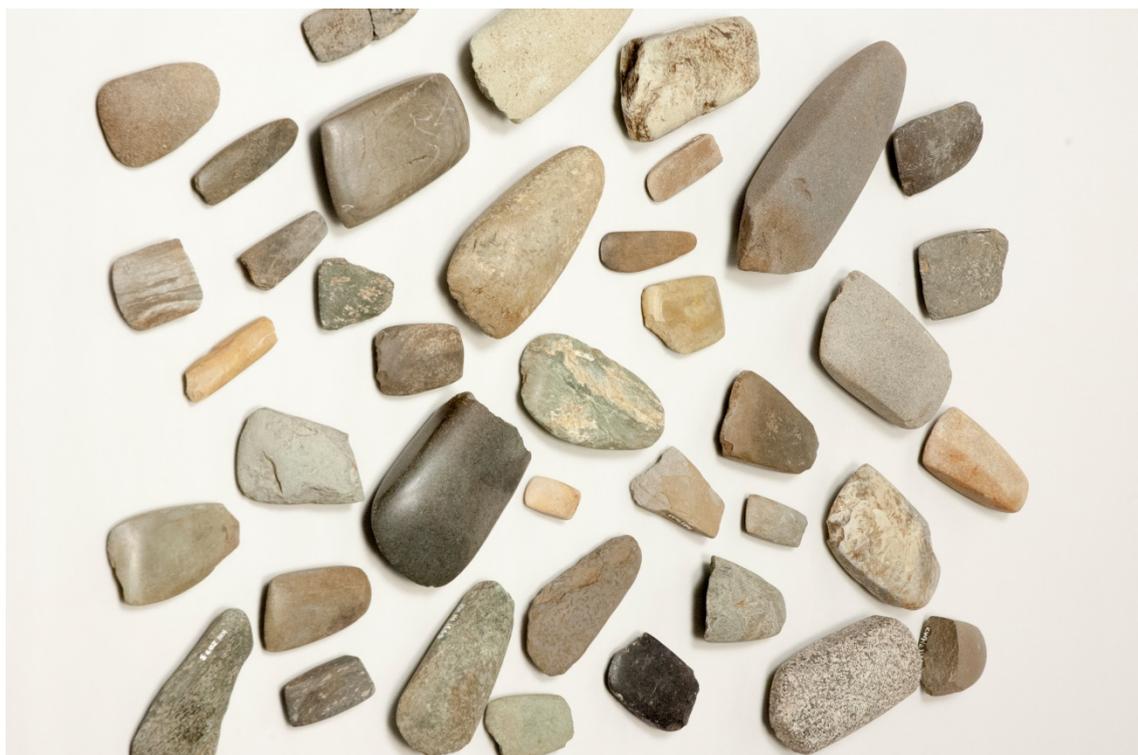


ニューギニアで実用される縦斧



ニューギニアで実用される縦斧

○松戸市 子和清水遺跡から出土した石斧 縄文時代



○松戸市 子和清水遺跡から出土した石斧 縄文時代



○千葉県 八千代市 栗谷（くりや）遺跡出土 弥生時代



○旧石器時代人と石斧 石斧とナウマン象



長野県 日向林（ひなたばやし）遺跡出土 ナウマン象を解体した時に使われたとされている

石斧と人

3万年のあゆみ

平成28年
9月17日[土]～11月23日[水・祝]

国立民族学博物館蔵

約60cm!
日本で最大の
石斧が松戸へ



写真：秋田県教育委員会提供

上輪遺跡出土磨製石斧（重要文化財）

会場 博物館企画展示室
 開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
 休館日 毎週月曜日(但し9月19日・10月10日は開館)
 9月20日(火)・10月11日(火)
 主催 松戸市立博物館
 後援 (公財)松戸市文化振興財団 **チビレテシ**
 協力 新京成電鉄株式会社 北総鉄道株式会社
 流鉄株式会社 国立民族学博物館

観覧料 一般 300円(240円/500円)
 高大生 150円(100円/250円)
 小中学生は無料
 ()は20名以上の団体料金
 企画・常設展共通観覧券の順
 ※11月3日(文化の日)は企画・常設展とも無料

観覧料無料のご案内

小中学生/市内在住で70歳以上の方/市内在住で身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている方とその介護人

石斧と人

3万年のあゆみ

人と石斧との関わりは約3万年前の旧石器時代からはじまり、現代まで続きます。人が最も長く使い続けた道具といえるでしょう。本展覧会では石斧の歴史の変遷をたどるとともに、3万年という長い歴史の中でみられる石斧と人との間に存在する様々な文化事象—石斧の収蔵、製作、流通、所有、副葬、性差—等にも目を向け、これらについて紹介します。

河原塚遺跡(松戸市)



土器に内蔵された磨製石斧 府中市郷土の森博物館蔵

武蔵台遺跡(府中市)



旧石器時代の磨製石斧を含む石器群 (群馬県・岩宿遺跡) 明治大学博物館蔵



磨製石斧を含む副葬品 (縄文時代 秋田県・池内遺跡) 秋田県埋蔵文化財センター蔵



弥生時代の磨製石斧 (八千代市・栗谷遺跡) 八千代市立郷土博物館蔵



儀礼用石斧(ニューギニア) ※



石斧(ニューギニア) ※



石斧(ニューギニア) ※国立民族博物館蔵

●講演会(無料)

13時～15時 会場：博物館講堂(定員80名)
 ①石斧と人—企画展のみどころ/9月25日(日)/大森隆志(当館学芸員)/当日先着順
 ②磨製の石斧と旧石器時代人の生活/10月23日(日)/安藤政雄氏(明治大学教授)/抽選
 ③斧を持つひと/11月3日(木・祝)/田中英司氏(東洋大学講師)/抽選
 申込方法
 ②・③：講演会ごとに、往復はがき(一人一枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、
 ②は、「10/23記念講演会」係へ。10月6日(木)必着。
 ③は、「11/3歴史を語る②」係へ。10月25日(火)必着。

●学芸員による展示解説会

9月24日(土)・10月9日(日)・10月22日(土)・11月6日(日)・11月19日(土)・11月23日(水・祝)
 時間：14時35分～15時10分/会場：企画展示室(参加者は企画展観覧券が必要)/申込：不要(直接会場へお越し下さい)

交通案内

◆新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または、松戸新京成バス小金原団地循環・新松戸駅行「公園中央口」下車すぐ。
 ◆JR武蔵野線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「公園中央口」下車すぐ。
お車でお越しの方へ

来館者専用の駐車場はございません。21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用下さい。なお、当館では障害者専用の駐車場をご用意しております。詳しくはお問い合わせください。

